

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：きらら保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：鈴木 典子	定員（利用人数）： 90名（105名）
所在地：〒236-0058 横浜市金沢区能見台東2-3	
TEL：045-790-3440	
ホームページ： kirara-2000.com	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2000年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 みどり会		
職員数	常勤職員： 26名	非常勤職員（内嘱託職員4名）： 27名
専門職員	保育士 38名	看護師 2名
	幼稚園教諭免許 32名	栄養士 3名
	小学校教諭免許 1名	中学校教諭免許 1名
	高等学校教諭免許 1名	養護教諭免許 1名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室6室、厨房1室、事務室1室、職員休憩室1室、ホール	木造りで温かみのある空間となっています。広々とした園庭の他、0歳児クラス専用の乳児園庭や、夏季のプール等で使用する幼児園庭も完備。

### ③理念・基本方針

#### 保育理念

「生命を大切に、思いやりの心を育てる」

#### 保育目標

「自立する心・自律できる心を育む」

- ・自分のしたいことができる（自立）
- ・自分がしたくないことでもできる（自律）
- ・自分がしたいことを我慢できる（自律）

#### 保育方針

- ・子どもの最善の利益の実現を目指すこと、および保護者・地域の親子に対して子育て支援を行い、もって乳幼児の健全な育成に貢献する
- ・自分を尊重し、相手も尊重する気持ちを育てていく
- ・子どもの発達段階を熟知し、子ども自身の力（自らを成長・発達させる力）を信じ、それぞれの発達段階にある子どもを一人一人観察し、その子に適切な環境づくり、援助をしていく

- ・自分の行動を自ら選択でき、してよいこと・いけないことの判断ができる、そして正しい価値観を持って成長できるように援助する
- ・「生命を大切に、思いやりの心を育てる」「自律する心・自律できる心を育む」  
子どもは愛情と信頼を受けて過ごす環境の中でこそ自尊心と他者を思いやる気持ちが育つということを踏まえ、子どもの「こころ」を大切にする保育を行う
- ・大人がコントロールするのではなく、誘いや仕掛けを用意しながら、子どもが主体的に楽しく生活できる保育を目指す

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・きらら保育園では、安全・安心の保育を心掛けるとともに、子どもたちが自立（自律）していくための能力をできる限り伸ばしたいと思い、モンテッソーリ教育法を取り入れています。モンテッソーリの教育法は、子どもの本来的な能力に着目し体系化されたもので、子どもたちの「知りたい」「できるようになりたい」という欲求にわかりやすく応えるものです。
- ・幼児クラスには、次のような課外授業があります。  
音楽・・・楽器（3歳児：鈴、カスタネット、4歳児：鍵盤ハーモニカ、5歳児：木琴）と合奏指導  
運動・・・マットや縄跳び、鉄棒、ボール指導等  
リズム・・・リトミックを中心に音に合わせて身体を動かす指導  
年長児は他に、エンジョイイングリッシュ（アメリカ人講師による英語を使った遊び等を指導）、茶道（表千家の教授を招いたお稽古）

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月27日（契約日）～ 2021年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2015年度）

#### ⑥総評

##### ◆特に評価の高い点

- ・恵まれた環境の中、子どもたちは主体的に活動に取り組み、いきいきと園生活を過ごしています

園では、園の保育理念に沿って、子どもの成長に応じた自らの気づきや意欲を尊重し、自発的に行動できるような保育の実践に努めています。また、モンテッソーリ教育の考え方に基づき、毎日の園生活を通じて一人ひとりの健全な成長の支援とともに、年齢や発達に応じていろいろなことに挑戦し、より多くのことを自分でできるような関わりに配慮しています。保育室には年齢に合わせた様々なモンテッソーリの教具やおもちゃ、絵本等を用意し、子どもが自分で選択できるようにしています。幼児になると自分でスケジュールを確認し、各々の活動（おしごと）に集中して取り組むとともに、友だちとの遊びを通じて元気いっぱい自分らしさを表現しています。

- ・園の保育理念を職員間で共有し、日々の保育に反映するための取り組みを行っています

年度始めの職員会議を通じて、園長から全職員に向け保育理念・方針を説明し周知を図るほか、折りに触れクラス会議や職員会議で取り上げ、保育場面での実践について確認しています。目標管理面接でも、理念に沿って個人目標を設定し、職員に意識付けを図っています。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止と保育のあり方について協議したり、保護者の意見を基に園全体で保育理念の考え方を確認するなど、課題の都度、理念に立ち帰り、協議を重ねて方向性の共有化を図る体制を構築しています。理念・方針の実践が、安定した保育にも繋がっています。

・地域の子育て支援の重要拠点として、地域交流事業にも積極的に取り組んでいます

園では「子育てひろば常設園」として横浜市の指定を受け、園庭開放や育児講座、交流保育などを実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響が深刻化する中であっても、可能な限り時間を調整して、園庭開放や「公園で遊ぼう」（子育てサークル会員向け）を実施しています。育児相談も随時受け付け、病後児保育事業や一時保育事業も行っています。また、「金沢区育児支援会議」や「金沢区健やか子育て連絡会」等の会合にも参加し、相談事業に職員を派遣したり、近隣保育園と協働して商業施設での子育て支援イベントを開催するなど、地域の子育て支援の重要拠点として、園の有する専門機能の積極的な提供に努めています。

◆改善が求められる点

・さらなる福祉人材の確保・育成と定着に向けたキャリアパスの仕組みを確立することが期待されます

園では保育理念の実現に向け、モンテッソーリ教育の資格取得を奨励するほか、経験年数に基づいて神奈川県保育エキスパート等研修の受講を義務付けるなど、良質な人材の育成と資質向上に努めています。また、法人として「等級制度」を導入し、職員の経験や資格取得等に応じた職員評価を実施するとともに、毎年全職員を対象に4回自己評価を実施して園全体の職員の資質向上にも努力しています。一方、職員がキャリアを重ねながら自らの知識や技術・専門性を高めるとともに、自身の将来像を描くことが可能なキャリアパスの構築は今後の課題となっています。福祉人材の効果的な確保・育成と職員全体の資質向上に向け、今後さらなる取り組みの充実化が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回この第三者評価を受けるにあたり、昨年2月末から1年以上もコロナ禍での保育園評価を受けなければならなかった事はとても残念に思っていました。

園児家族アンケートではどのくらいのご家庭が協力してくださるのか、昨年度の新入園児保護者には何も保育園活動を見ていただけなかったので理解されていないと感じ、当惑の中でのアンケート調査でした。

しかしながら回収率も78%となり、一番基本となる保育方針・保育目標を理解し、賛同できると回答して下さったご家庭が96.7%いらしたことはとても嬉しく、日頃の保育に対してこんなに理解して下さっていることがわかり、今後の励みにつながりました。また一部の方の不満や賛同できないというご意見もこれからの保育園としての課題であり、そうした意見もとても貴重なもので、園として独り善がりにならず、常に子どもを最優先に配慮し利益を損なうことがないように努めて参ります。保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきましたこと、改めて深く御礼申し上げます。

市民セクターよこはまの調査員の皆様には、細部にわたり色々ご指導、ご指摘いただき、これからの保育に役立てて参ります。施設長として苦手である経営状況の把握と理解、中長期的なビジョンについてしっかりとした意見を持ち、職員とともに前進して参ります。

きらら保育園  
園長 鈴木典子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり